

新 中 地 第 304 号
令 和 3 年 10 月 22 日

中央区自治協議会委員 各位

中 央 区 長
(担当：中央区地域課)

「中央区区ビジョンまちづくり計画第3次実施計画」
令和2年度の実施結果について（報告）

標記について、別紙のとおりご報告いたします。併せて、選出母体等にもお伝えいただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

中央区役所地域課 企画グループ

担当：池田、若槻、小柳

TEL：025-223-7023

FAX：025-223-3660

E-mail：chiiki.c@city.niigata.lg.jp

中央区区ビジョンまちづくり計画の取組結果について (第3次実施計画 令和2年度分について)

【中央区区ビジョンまちづくり計画】

中央区区ビジョンまちづくり計画は、新潟市総合計画（にいがた未来ビジョン）の一部である区ビジョン基本方針の実現に向けた取組みである「基本計画」と、そこに示された施策を実現するための具体的な取組みである「実施計画」で構成された中央区のまちづくり計画です。

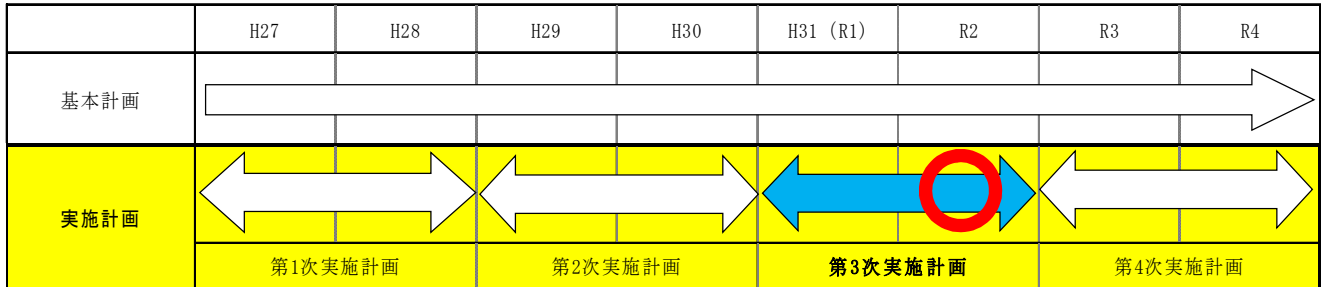
計画期間は、2015（平成27）年度から2022（令和4）年度までの8年間です。ただし、実施計画は、取組状況や社会・経済状況の変化などに対応するため、2年ごとに策定し、進捗管理を行っています。

【第3次実施計画】

実施計画は、その期間に取組む事業をまとめ、事業ごとに工程・数値目標を設定しており、その目標が達成されたか、毎年取組結果として公表しています。

第3次実施計画は、令和元年度・令和2年度の2年間で、4つの目指す区のすがた「①魅力的で活力あふれる拠点のまち」「②安心してすこやかに暮らせるまち」「③水と緑が調和したやすらぎのあるまち」「④未来につなぐ歴史・文化のまち」に、「⑤区政運営の基盤」を追加した5つの柱ごとに、取組む事業を分類しています。

今回は、第3次実施計画の2年目にあたる令和2年度の各事業の取組結果についてまとめました。全取組み107事業（うち再掲19事業）の取組状況は以下のとおりです。



・「目指す区のすがた」ごとの取組状況

目指す区のすがた	取組数	目標達成	一部目標未達成	未実施	目標達成率
①魅力的で活力あふれる拠点のまち	30	11	18 (15)	1 (1)	36.7%
②安心してすこやかに暮らせるまち	44	31	13 (9)	0	70.5%
③水と緑が調和したやすらぎのあるまち	9	4	2 (1)	3 (3)	44.4%
④未来につなぐ歴史・文化のまち	15	1	14 (12)	0	6.7%
⑤区政運営の基盤	9	8	1	0	88.9%
計	107	55	48 (37)	4 (4)	51.4%

※表中（ ）で記載した数はコロナ影響のあった取組

【特色ある区づくり予算「区役所企画事業」】

区役所が実施主体となり区独自の課題解決等に向けて取組む「区役所企画事業」は、自治協議会での意見・提案等が反映される意見反映型の事業です。

令和2年度を取組結果を下記の通りまとめましたので、令和4年度事業への意見聴取の参考にしていただければと思います。

事業番号は本冊の番号です 「結果」…○：目標達成、△：一部目標未達成、×：未実施

事業No.・事業名・(予算決算額)・取組み	結果	成果(△の理由含む)、今後の方針
◎魅力的で活力あふれる拠点のまち		
まちなか回遊		
5 アトリウム発にぎわいプロジェクト (予算：1,200千円 決算：1,200千円) ・まちなかミニコンサートなどイベントの実施 ----- 工程・数値目標⇒結果 ・まちなかミニコンサートや関係協力団体との共同イベントの開催⇒6事業 ・アトリウム年間利用団体数 120件⇒延べ70件	△	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、人流の抑制が必要となり、従来の集客型のイベントの開催が困難な状況が続いた。 アトリウムのライトアップやふるまちなかランチマップのパネル展示などを行い、コロナ禍でも昨年と同数の5回イベントを開催することができた。 今後は周辺地域でも展開できるよう商店街や関係団体などと連携しながら、イベントや情報発信を行っていく。
6 地域のお宝！再発見事業【まち歩き(えんでこ)】 (予算：2,743千円 決算：1,766千円) ・新潟シティガイドによるまち歩きの実施 ----- 工程・数値目標⇒結果 ・まち歩き参加者数700人⇒143人 ・参加者へのアンケート結果で「中央区の魅力を再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持たせたい」と回答した人の割合 80%以上⇒98%	△	<ul style="list-style-type: none"> 前期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全日程を中止、後期は回数・定員を通常より縮小し実施したため参加者数の目標達成には至らなかったが、中央区内に点在する「みなとまち新潟」の歴史と文化が薫る見どころスポットを巡ってもらうことで、「まち歩き」を楽しみながら区の魅力を再認識してもらえる機会を提供できた。 今後も感染症対策を徹底しながらまち歩き事業を継続し、市民(特に区民)に中央区の地域資源に対する関心を持ってもらうための取組みを行う。
都市機能		
14 路上駐輪対策事業 (予算：1,409千円 決算：1,069千円) ・令和元年度検討した路上駐輪対策の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> 商店街での路上駐輪のうち、商店街利用者による駐輪が多数であることから、令和2年度は、古町7番町に商店街利用者用駐輪スペースを設置した。

<u>工程・数値目標⇒結果</u> ・令和元年度検討した路上駐輪対策の実施⇒古町 7 番町商店街に商店街利用者駐輪スペースを設置 (10 台分)	
交流人口	
再掲 地域のお宝！再発見事業【まち歩き（えんでこ）】 (No.6 の再掲)	

事業No.・事業名・(予算決算額)・取組み	結果	成果 (△の理由含む)、今後の方針
◎安心してすこやかに暮らせるまち		
協働		
33 地域主体の人口減少に関する取組推進事業 (予算：5,000 千円 決算：4,539 千円) ・検討事業の実施 <hr/> <u>工程・数値目標⇒結果</u> ・検討事業の実施⇒「はじめて、しもまち」プロジェクトの実施	○	<ul style="list-style-type: none"> 市内でも人口減少・高齢化の進行が著しい「しもまち地域」の活性化のため、若い世代に興味を持ってもらうきっかけ作りを目的として、SNS 等を活用した魅力の発信を行った。 SNS 等をきっかけに、しもまちに興味を持った人が、現地を訪れ地域の魅力に触れることができる各種イベントを実施した。 今後も継続して地域の魅力の発信に取り組んで行く。
健康・福祉		
39 みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業 (予算：4,686 千円 決算：4,608 千円) ・妊カフェ・育カフェ等の実施 ・子育て支援ネットワーク会議や産科との連絡会議 <hr/> <u>工程・数値目標⇒結果</u> ・各事業の開催回数 妊カフェ 12 回⇒10 回 育カフェ 24 回⇒28 回 育ばる 12 回⇒10 回 10 か月育ちの講座 24 回⇒21 回 子育て支援ネットワーク会議 2 回⇒1 回 産科との連携会議 2 回⇒2 回 (うち 1 回は書面開催)	△	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年度当初は講座を中止したが、コロナ禍で孤立化が懸念される母子の支援が必要と考え、5 月以降実施可能な講座からリモートで講座を再開した。感染が落ち着いた時期からは対策を講じて対面での講座を再開し、不安を抱える妊婦や母子の相談先を確保することができた。 中央区の特徴から専門職に気軽に相談できる場や仲間づくりのための場の提供は継続して行う必要があるため、今後も感染症対策を徹底しながら実施する。 子育て支援ネットワーク会議は回数減となったが、産科との連携会議は書面開催も活用し、地域における妊婦や子育ての現状や課題の共有を行った。 定期的な情報交換や課題の共有が現状に合わせた支援につながるため、各会議は継続して実施する。

事業No.・事業名・(予算決算額)・取組み	結果	成果(△の理由含む)、今後の方針
健康・福祉		
<p>40 赤ちゃん誕生お祝い会支援事業 (予算：550千円 決算：335千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「赤ちゃん誕生お祝い会」の開催支援 <hr/> <p>工程・数値目標⇒結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「赤ちゃん誕生お祝い会」の開催支援⇒8団体(うち取下2) 赤ちゃん参加人数：59人 	○	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、2団体が申請を取り下げた。開催団体数及び赤ちゃんの参加者数は前年度より減少したが、主催者とともに工夫を重ね、事業を実施することができた。 参加者からは、「コロナ禍で家にいることが多かったため、他のママと交流し気分転換になった」「地域の方が優しい方がよかった」などの声が聞かれ、やさしく見守ってくれる地域の人がいることを実感でき、孤立感や不安感の解消にもつながった。 今後も、子育て世帯が地域活動に参加するきっかけづくりを地域団体等が進めていけるよう、支援を行う。
<p>48 糖尿病予防事業 (予算：2,000千円 決算：1,747千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民への啓発「まちなか健康相談室」開催 飲食店でのヘルシーランチ提供 まんがキャラクターを活用した啓発 <hr/> <p>工程・数値目標⇒結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「まちなか健康相談室」の開催 ⇒実施：来場者119人超 中央区内の飲食店でヘルシーランチの提供 ⇒8店舗：提供数2,982食 まんがキャラクターを活用した啓発 ⇒区だよりにマンガ掲載、NEXT21・区内地域保健福祉センターに横断幕を掲示、封筒・ポケットティッシュ・各種資料に計33回活用 	○	<ul style="list-style-type: none"> 区の健康課題である糖尿病について健康相談や広報誌等による啓発を行った。 糖尿病予防啓発イベント「まちなか健康相談室」は新型コロナ感染症拡大防止のため予約制とし、NEXT21内の店舗や関係団体等と協働で開催し、来場者に糖尿病の正しい知識や予防方法について周知することができた。 区内飲食店で糖尿病予防に効果のあるヘルシーランチを提供、糖尿病予防に理想的な野菜の量や味付けを実感してもらった。 まんがキャラクターを活用し、中央区オリジナル健康読本「レッツ トライ 糖尿病予防！」を作成、各種講座等で糖尿病予防の知識普及啓発を行った。 今後はこれまで協働してきた関係機関等と連携し、糖尿病予防のための生活習慣改善に向けたアプローチを行う。
<p>55 話そう・つなごう・あなたの思い 終活きっかけづくり事業 (予算：1,234千円 決算：501千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域別人生会議 意思決定サポーター育成 	○	<ul style="list-style-type: none"> 医療・ケアの支援に携わる専門職がACP(アドバンス・ケア・プランニング=人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み)について理解を深めるとともに、それぞれの職域に活かせるよう共通認

<p><u>工程・数値目標⇒結果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別人生会議 6回⇒9回開催（参加人数 132人） ・民生委員研修 開催回数 17回（参加者数 343人） ・専門職研修 153人受講 ・区民啓発 リーフレットの作成等 	<p>識を持つことを目的に、専門職研修を 12月 23日市民プラザにて開催。感染予防の観点からリモートや動画配信などを行い、153人が受講した。受講者アンケートで「満足度」「ACPの大切さ理解度」とともに100%となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター等と協働し、民生委員を対象とした研修や、地域別人生会議を地域の茶の間等で開催した。参加者アンケートでは「元気なうちから話すことが大事」「考える機会になった」という意見が多く、ACPの大切さを伝えることができた。 ・今後はACPの大切さを伝えることのできる人材育成と区民への啓発に引き続き取り組む。
--	--

事業No.・事業名・(予算決算額)・取組み	結果	成果(△の理由含む)、今後の方針
防災・防犯		
<p>64 防災人材育成・地域づくり事業 (予算：4,829千円 決算：4,039千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営スキル向上事業の実施 ・中央区自主防災組織への資機材助成 ・避難行動要支援者関係づくり事業 ・地域版自主避難マップの作成 <hr/> <p><u>工程・数値目標⇒結果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイパージュニアレスキュー訓練のアンケートで「災害時の率先した行動」との回答 80% ⇒行動意識度 97% ・自主防災組織の防災資機材整備への補助金 ⇒実施：申請 6組織 ・避難行動要支援者との関係づくり ⇒104組織 992人へ交付。 ・2つのコミ協で地域版自主避難マップの作成・配布を支援 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象とした避難所運営スキル向上事業を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、希望者参加型から開催希望校を対象とした講習会へ変更した。 ・自主防災組織へ防災資機材整備の助成を実施したほか、避難行動要支援者支援組織に啓発品を支給し、要支援者と支援者のコミュニケーションづくりを進めた。 ・津波到達時間が早いと想定される2コミ協がマップの作成に取り組み、研修やワークショップを開催することにより作成・配布を支援した。 ・今後は防災関連事業だけでなく、防犯、交通安全事業も統合し、一体的に安心安全事業に取り組んでいく。

事業No.・事業名・(予算決算額)・取組み	結果	成果(△の理由含む)、今後の方針
防災・防犯		
70 犯罪のない地域づくり事業 (予算：440千円 決算：436千円) ・高齢者を主な対象とした啓発	○	<ul style="list-style-type: none"> 警察署等との街頭啓発のほか、協力事業者による高齢者宅への訪問啓発を実施し、広く防犯意識の向上を図った。 今後は防犯単独での事業を取りやめ、防災、交通安全事業と統合し、一体的に安心安全事業に取り組んでいく。
工程・数値目標⇒結果 ・高齢者を主な対象として、直接届く働き掛けを実施⇒特殊詐欺への注意を喚起するチラシ、啓発物を作成し配布。		

◎水と緑が調和したやすらぎのあるまち		
水辺		
74 とやの物語<NEXT STORY> (予算：3,300千円 決算：3,300千円) ・「とやの物語」の開催 工程・数値目標⇒結果 ・「とやの物語」参加者数4,000人以上⇒出前講座参加者2,000人	△	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため計画していたイベントを中止し、出前講座、パネル展の開催、映像教材の作製等の環境啓発事業を実施した。 今後も、出前講座、パネル展の展示、映像教材の作製等の環境啓発事業を継続していく。
緑化		
80 区民協働森づくり事業 (予算：5,309千円 決算：5,214千円) ・継続的な森の管理、クロマツの植樹 工程・数値目標⇒結果 ・継続的な森の管理、クロマツの植樹⇒830本植樹	○	<ul style="list-style-type: none"> 協議会にて森づくりや植樹イベントの計画を策定し、地元コミュニティ協議会、小中学校などの区民と協働で実施することができた。 市営汐見台住宅跡地に植樹したクロマツが順調に生育しているため、密度管理として順次伐採を行い、住環境の改善(防風・飛砂対策)に資する森づくりを目指していく。

事業No.・事業名・(予算決算額)・取組み	結果	成果(△の理由含む)、今後の方針
◎未来につなぐ歴史・文化のまち		
歴史・文化		
<p>82 北前船がもたらした伝統的産業のPR事業 (予算：3,800千円 決算：2,668千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟漆器利用促進事業の実施 味噌づくりカリキュラムの実施 古町芸妓の舞と唄の鑑賞と老舗料亭での食事をセットにした事業への支援 古町芸妓PR事業の実施 <hr/> <p>工程・数値目標⇒結果</p> <p>各事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟漆器利用促進事業⇒採用7店舗 味噌づくりカリキュラム⇒中止 料亭の味と芸妓の舞⇒中止 古町芸妓によるPR事業⇒6回 	△	<ul style="list-style-type: none"> 区内の飲食店等に新潟漆器を貸し出し、店舗、来店者の双方に実際に使用してもらうことで、店舗側の利用ニーズの把握と来店者へのPRが同時にできた。 「味噌作りカリキュラム」は新型コロナウイルスの影響により中止したため目標達成に至らなかった。今後、事業内容の見直しを図りながら発酵食PR事業を継続して実施する。 「料亭の味と芸妓の舞」は新型コロナウイルスの影響により中止したため目標達成に至らなかったが、定期的なイベント開催により活動の浸透を図り、古町芸妓に触れる機会を提供できた。 区の伝統的産業について、今後も関係機関と連携を図りながら魅力再発見の場を提供し、認知度向上につながるよう取り組みを継続していく。
再掲 地域のお宝！再発見事業【まち歩き(えんでこ)】		(No.6の再掲)
産業		
再掲 北前船がもたらした伝統的産業のPR事業		(No.82の再掲)
<p>再掲 地域のお宝！再発見事業【伝統文化PR事業】 (再掲 予算：2,743千円 決算：1,766千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央区の文化施設を活用した伝統文化PR事業の推進 <hr/> <p>工程・数値目標⇒結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化PR参加施設数8施設⇒イベント中止 旧齋藤家別邸庭園築造100周年記念シンポジウムの実施 旧齋藤家別邸屋外型施設案内板の設置 	△	<ul style="list-style-type: none"> 例年実施している西大畑旭町文化施設協議会(異人池の会)参加施設の連携イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせた。 旧齋藤家別邸庭園築造100周年シンポジウムを同協議会の協力により実施した。シンポジウムでは文化財の魅力や保存・活用等についてとり上げ、市民に旧齋藤家別邸を含む中央区の文化施設に興味や関心を持ってもらう機会を提供することができた。 施設間の連携強化及び中央区伝統文化のPRにおいて一定の効果が得られたため、令和2年度で本事業を終了とする。

中央区
区ビジョンまちづくり計画 第3次実施計画
令和2年度分取組状況

新潟市中央区役所

目指す区のすがた I 魅力的で活力あふれる拠点のまち

1 商店街

(1) 魅力あふれる商店街の形成

◆区主体事業

取組評価：○：目標達成、△：一部目標未達成、×：未実施

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
1	中央区拠点商業活性化推進事業の実施	中央区拠点商業活性化推進事業計画(H26～R元年度)に位置付けた事業を重点的に支援し、区の商店街活性化を推進します。	・支援実施	○	◎賑わい創出の支援を継続し、商店街活性化事業等の支援を実施した。	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
2	次世代につながる魅力ある店舗への支援	売上・来店者数増加のために行う魅力的な店舗への改装や、商店街の空き店舗を活用した地域課題の解決等を行う取組みを支援します。また、地元商店街と連携した古町地区の空き店舗活用支援のため、制度を一部拡充します。	【次世代店舗支援事業費の交付】 ・前年度以上(全事業)	△	◎新規採択件数 (次世代店舗支援事業) ・既存店魅力向上事業 R2年度:24件(うち中央区15件) R1年度:27件(うち中央区15件) ・商店街空き店舗活用事業 R2年度:1件(うち中央区1件) R1年度:2件(うち中央区:2件) ・中心商店街活性化支援事業 R2年度:3件(うち中央区3件) R1年度:0件 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・既存店魅力向上事業及び商店街空き店舗活用事業においては目標達成に至らなかったものの、中心商店街活性化支援事業については関係機関との積極的な情報共有を図り、採択件数は前年度から増加した。 ・令和3年度は、よりニーズにあった事業への見直しを行い、次世代店舗支援事業を廃止し、新たに古町地区空き店舗活用事業、商店街空き店舗活用事業の2事業で、事業者による空き店舗への出店を支援していく。	商業振興課
3	創業時の賃料補助(店舗)	本市商業の活性化を図るため、市内で創業する者の店舗賃借料を支援します。 また、UIJターン又は特定創業支援事業の支援を受けた創業や商店街内での創業に対する上乘せ支援を行います。	・店舗賃借料の補助 前年度以上	△	◎新規採択件数:4件(うち中央区4件) 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・全市では目標件数に届かなかったが、中央区の採択件数は前年度から増加した。令和3年度はより多く創業者を支援できるよう事業の周知を図る。	商業振興課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
4	創業時の賃料補助 (オフィス)	起業及び創業を促進し、産業の活性化を図るため、市内で創業する者の事務所賃借料を支援します。 また、UIJターン又は特定創業支援事業の支援を受けた創業や、情報通信関連産業における創業に対しては上乘せ支援を行います。	・支援企業数:20件 (内新規5件)	△	◎支援企業数:14件(内新規4件) 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・目標には届かなかったが、新規採択全4件が中央区内の事業所開設で、継続支援企業も半数が中央区だった。新型コロナウイルスの感染拡大により創業・起業をすることに一定程度のリスクがあったことから目標に届かなかったものとする。 ・一方、データ利活用やECによる事業拡大などのポストコロナを見据えた新たなビジネスモデルの展開が期待されつつある中、新時代の新たなビジネスチャンスにチャレンジする創業・起業者を支援することで産業の活性化を図っていく。	企業誘致課

I-2 まちなか回遊

(1) まちなかの回遊性を活かしたにぎわい創出

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
5	アトリウム発にぎわい プロジェクト (区づくり事業)	中央区役所の「門前」であるNEXT21アトリウムで様々な催事を実施することにより、地域や民間の方々の情報発信の場としてアトリウムを活用してもらうためのPRを行うとともに、関係団体とも連携を図りながら、にぎわい創出の契機とします。	・まちなかミニコンサートや関係協力団体との共同イベントの開催 ・アトリウム年間利用団体数120団体	△	◎アトリウムでのイベント開催状況 ・防犯イベント(防犯を呼びかける書道作品掲揚及び街頭啓発) 11月9日 ・アトリウムライトアップ(ブルーライトで医療従事者を応援) 11月23日～12月31日 ・ピアノ演奏(コロナ禍につき観客席を設けず実施) 12月20日及び25日 2月9日及び12日 ・白根の大風掲揚(疫病退散と医療従事者へ感謝) 2月13日～3月15日 ・Furumachiランチマップパネル展示 3月1日～31日(クイズ応募者135名・アンケート125件) ◎アトリウム利用団体数 延べ70団体 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、アトリウムを利用するイベントが相次いで中止となったため。 ・今後も引き続き新型コロナウイルスの感染予防に注意し、新しい生活様式に基づいたイベントができるようイベント主催者と連携を図っていく。	総務課
再掲	中央区拠点商業活性化推進事業の実施	中央区拠点商業活性化推進事業計画(H26～R元年度)に位置付けた事業を重点的に支援し、区の商店街活性化を推進します。	・支援実施	○	◎賑わい創出の支援を継続し、商店街活性化事業等の支援を実施した。	地域課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
6	地域のお宝！再発見事業【まち歩き(えんでこ)】 (区づくり事業)	中央区の地域資源に対し、市民(特に区民)が関心を深め、シビックプライドの涵養につなげるために、新潟シティガイドによる解説付まち歩き(えんでこ)や提案型によるまち歩き、伝統文化PR事業の推進などを行います。	・「まち歩き」参加者数 700人 ・参加者へのアンケート結果で「中央区の魅力が再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持た」と回答した人の割合 80%以上	△	◎「まち歩き」参加者数 143人 ◎アンケートで「中央区の魅力が再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持た」と回答した人の割合 98% 【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 ・前期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全日程を中止、後期は回数・定員を通常より縮小し実施したため、参加者数の目標達成には至らなかった。 ・今後も感染症対策を徹底しながらまち歩き事業を継続し、市民(特に区民)の中央区の地域資源に対する関心を深める。	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
7	都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間の創造	「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」や、開港150周年に併せた光の演出などを行い、萬代橋周辺の新たな魅力の創出に取り組みます。	・ミズベリング来客数 前年度以上 ・まちなか主要ポイント(古町、万代、駅前)合計の歩行者交通量 前年度以上	×	【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の影響により、「ミズベリングやすらぎ堤」を開催中止した。R3年度は、エリアマネージメント事業者による新型コロナウイルス感染症対策について万全を期した上での実施に向けより一層の水辺エリア活性化の取組を推進する。	まちづくり推進課
8	都市デザイン推進事業	県とともに策定した「新潟都心の都市デザイン」に沿って、官民連携しながら、駅周辺と万代、古町地区を結ぶ都心軸を中心に回遊性向上や、新たな賑わい創出につなげるため、歩行者空間の確保や公共空間の利活用に向けた取組みを推進します。	・都市デザインの具現化に向けた取組み	○	◎公民連携による公共空間利活用の社会実験を2回実施した。(万代ガルベストーンテラス社会実験[R2.7~R2.9]、ANAクラウンプラザホテル新潟前公開空地活用社会実験[R2.9~R2.11]) ◎都市デザインの具現化に向け、新潟駅・万代地区周辺のエリア関係者とのまちづくり勉強会や旧新潟駅前通エリア関係者との勉強会を開催した。(計5回) ・今後は、新潟駅万代地区における将来ビジョンの作成や、公共空間の利活用の推進に公民連携により取り組む。	まちづくり推進課
9	古町通7番町地区第一種市街地再開発事業の推進	地権者で構成される市街地再開発組合が実施する事業。旧大和新潟店の建物と、これに隣接する周辺建物とを再開発することで、賑わいの創出を実現し、古町地区の活性化に寄与するものに対し、建築工事等に関する事業費の一部を国とともに助成します。	・広場整備への補助 ・広場整備工事着手	○	◎広場整備工事に着手、国とともに建設費の一部を助成した。	まちづくり推進課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
10	万代5丁目地区 まちなか再生建築物等 整備事業の推進	新潟駅万代口の正面、都心軸上における共同住宅の建設に伴い、不足している公共空間の確保等の整備を図り、都心居住に寄与するよう、民間事業者に対して事業費の一部を国とともに助成します。	・優良建築物への補助 ・工事進捗率60%	△	【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・工事に着手したが、新型コロナウイルスの影響により工事の進捗が遅れ、工事進捗率の目標値を達成することができなかった。 ・今後も引き続き、令和4年度の竣工に向け、国とともに建設費の一部を助成していく。	まちづくり 推進課
11	万代島にぎわい空間の創造	万代島多目的広場を円滑に管理運営するほか、万代島地区のにぎわいの創出に向けた取組みを県と連携して行います。	・万代島多目的広場の利用者数の増加に向けた利活用の検討 ・新潟西港・水辺まちづくり協議会の開催 ・万代島地区へのアクセス向上の検討	○	◎万代島多目的広場の指定管理者を公募選定し、円滑な引継ぎのための準備作業・協議を推進した。 ◎新潟西港・水辺まちづくり協議会を開催した(2回書面会議)。 ◎新潟西港・水辺まちづくり協議会と協働で、万代テラスに「新しい生活様式」に適応するオープンカフェ実験店舗を展開。(8/7～11/11) ◎新潟県に協力して、万代島において「低速電動バス実証事業」を実施。(8/29～10/25)	港湾空港課
12	観光客おもてなし態勢の促進	新潟駅を起点として、豊かな「農」やみなとまちで育まれた「食文化」などストーリー性のある観光エリアを形成するとともに、国内外からの観光客が快適に滞在し、行動できるよう、誘導サインの充実や多言語対応など、おもてなし態勢を整備します。	・さらなる充実・誘客促進	△	◎H30、R1新潟ストーリープロジェクト事業で形成した市内6つの観光エリアの受入態勢強化及びコンテンツの磨き上げ、エリアの認知度向上を図ることを目的に、各エリア紹介記事の制作など各種事業を実施した。 ◎本市の魅力ある資源を活用した観光コンテンツの継続的な実施に必要な初期費用や、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて、外国人観光客の受入に必要な機器等を整備した民間事業者に対して支援を行った。 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、東京オリンピック・パラリンピック競技大会延期やインバウンド需要の低下により、事業内容により実施が困難となったものがあつた。 ・感染症収束後を見据え、新たな観光需要を捉えながら観光客の受入環境を強化していく。	観光推進課
13	観光循環バスの運行	観光循環バスのダイヤ・ルート変更による効率的な運行とともに、老朽化した車両を更新し、観光客の市内中心部への利便性・回遊性の向上を図ります。	・延べ宿泊者数 2,278千人泊 ・観光入込客数 2,242万人	△	◎延べ宿泊者数 1,618千人泊 ◎観光入込客数 1,082.2万人 ・観光循環バスを運行し、市内中心部への利便性・回遊性の向上を図った。 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により外出の自粛やイベントの中止が相次いだため。 ・感染症が収束するまでについて、新潟交通など関係機関と連携し、現状の運行を維持することで、感染症収束後の早急な回復に備える。 ・感染症収束後は、感染症以前の利用者数までの早期回復を目指すため、ルート・ダイヤについての検証を行う。	観光推進課

I-3 都市機能

(1) 安全に通行できる道路空間の再構築

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
14	路上駐輪対策事業 (区づくり事業)	古町地区における歩行者の通行や緊急時の避難路確保等のため、路上駐輪に対する定期的な啓発活動として自転車等駐輪場への誘導を行い、駐輪マナーの向上及び路上駐輪の削減を図ります。また、対象を古町地区に絞ることで、地元商店街組合等との連携をさらに密にし、より高い成果を目指します。	・検討した路上駐輪対策の実施	○	◎古町7番町商店街に商店街利用者用駐輪スペースを設置(10台分)	建設課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
15	自転車利用環境の整備	「新潟市自転車利用環境計画」に基づき、自転車走行空間の整備及び放置自転車対策を推進します。	・走行空間整備 (ネットワーク路線) 8.3Km	○	◎自転車走行空間整備(ネットワーク路線)L=16.5km (うち中央区 L=4.3km)	土木総務課

I-3 都市機能

(2) 交通基盤の強化

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
16	住民バスへの支援	しもまち住民バス「にこにこ号」の運営を支援します。	・住民バスの運行支援 ・本運行分収支率45%以上	△	◎運行支援として、経費の補助支援や関係者による協議を重ねた。 ◎本運行分収支率 36.7% 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛により住民バスの利用が減少したため、目標達成には至らなかった。利用者が安心してバスを利用してもらうための取り組みとして、通常の除菌や消毒に加え、抗菌・抗ウイルス剤をバス車両にガラスコーティングし、衛生環境の確保に努めた。今後も引き続き関係者と協議を重ね、運行支援に努める。	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
17	交通システムの強化(シニア半わり・新駅の検討など)	高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」を実施するほか、新駅設置の実現に向けて調査検討を進めるなど、公共交通で移動しやすいまちづくりに取り組みます。	【シニア半わり】 ・持続可能な制度となるような取組みを関係者ととも段階的に進める。 ・事業効果検証のためのアンケート実施 【新駅の検討】 ・新駅設置に向けて、引き続き調査・検討	○	【シニア半わり】 ◎持続可能な制度とするため、「代理人による申請手続き制度」と「補てん額からポイント相当額の差し引き」を継続したほか、新たに「利用上限額制度」の実現に向けて交通事業者と調整を実施。 ◎利用者アンケートにより、バスによるお出かけ回数の増加を確認。これによる効果として、健康寿命の延伸や医療費の抑制、自動車運転事故の抑制等につながっているものと考えられる。 【新駅の検討】 ◎(仮称)上所駅の設置の実現に向けて、概略設計や周辺施設の基本計画を実施。	都市交通政策課
18	新潟駅周辺地区の整備	新潟の陸の玄関口にふさわしい機能的で魅力ある都市空間と、日本海国土軸の強化及び利便性の高い交通ターミナル機能の充実を図ることを目的に、鉄道高架化や立体交差道路及び駅前広場等の整備を着実に進めます。	【連続立体交差事業】 ・新潟駅高架橋整備 ・信越・白新線高架橋整備 【万代広場】 ・広場実施設計 ・万代改札仮設移転工事 【高架下交通広場】 ・昇降設備設置工事 ・支障物移設工事	○	◎連続立体交差事業 ・新潟駅高架橋整備(1面1線分)を推進。 ・信越・白新線高架橋整備(残り2線分)を推進。 ◎万代広場 ・広場実施設計着手。 ・万代改札仮設移転工事完了。 ◎高架下交通広場 ・昇降設備設置工事を推進。 ・支障物移設工事を推進。	新潟駅周辺整備事務所

I-3 都市機能

(3) 道路空間の健幸プラットフォームの構築

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
19	健幸サイクル環境整備事業	ぐるりん新潟島(新潟島一周自転車道)の利便性向上を図ります。 (距離表示等の改善、歩行者と自転車の分離など)	/	—	R1で事業終了	建設課

I-4 交流人口

(1) 文化・スポーツ・観光の充実

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	地域のお宝！再発見事業 【まち歩き(えんでこ)】 (区づくり事業)	中央区の地域資源に対し、市民(特に区民)が関心を深め、シビックプライドの涵養につなげるために、新潟シティガイドによる解説付まち歩き(えんでこ)や提案型によるまち歩き、伝統文化PR事業の推進などを行います。	・「まち歩き」参加者数 700人 ・参加者へのアンケート結果で「中央区の魅力を再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持たれた」と回答した人の割合 80%以上	△	◎「まち歩き」参加者数 143人 ◎アンケートで「中央区の魅力を再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持たれた」と回答した人の割合 98% 【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 ・前期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全日程を中止、後期は回数・定員を通常より縮小し実施したため、参加者数の目標達成には至らなかった。 ・今後も感染症対策を徹底しながらまち歩き事業を継続し、市民(特に区民)の中央区の地域資源に対する関心を深める。	地域課
20	SNSなどICTの活用事業	FacebookやTwitterなどの情報媒体を活用し、区づくり事業のイベントなどについて情報発信します。	・Facebook「ぶらり 中央区」月3回を目途に記事を更新	△	◎Facebook「ぶらり 中央区」 投稿数 21回 ◎区公式Instagram 投稿数 58回 【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 ・新たに公式Instagramを開設し、発信する情報の性質に応じてFacebookとInstagramを使い分けたため、Facebookへの投稿数としては目標を達成できなかったが、両者合計では月平均6回以上の更新を行い、中央区の魅力発信に取り組んだ。 ・今後もFacebookやInstagramなどのSNSを積極的に活用し、効果的な情報の発信に努める。	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
21	外国人の誘客促進	様々な自治体や民間事業者と連携し、情報発信と海外セールスの強化を図ることで、さらなる訪日外国人観光客の誘致を推進し、交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげます。	・外国人延べ宿泊者数 8万4千人	△	◎ 外国人延べ宿泊者数 1万8千人 【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との往来が困難だったため、大幅な減少となった。 ・感染症収束後の世界の動向や観光ニーズの把握による施策の企画・検討を行うとともに、様々な民間事業者・団体や自治体と連携し、収束後の外国人観光客受入に向けた環境整備や時宜を得た本市知名度のさらなる向上施策を進める。	観光推進課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
22	魅力の発信・誘客の推進	本市へのさらなる誘客につなげるため、ガストロノミー(食文化)ツーリズムやみなとまち文化をはじめ本市の個性を生かした着地型観光コンテンツの強化を図るとともに、様々なメディアを活用した効果的な情報発信を行います。	・延べ宿泊者数 2,278千人泊 ・観光入込客数 2,242万人	△	◎延べ宿泊者数 1,618千人泊 ◎観光入込客数 1,082万人 ・新型コロナウイルス感染症の影響により人の往来が実質的に制限される中、状況に合わせた着地型コンテンツの充実や必要な情報提供に取り組んだ。 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により外出の自粛やイベントの中止が相次いだため、延べ宿泊者数、観光入込客数ともに激減した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により宿泊業をはじめとした観光業が甚大な影響を受けており、その影響が長期化している。ウィズコロナ・ポストコロナ時代に即した情報発信を行う。	観光政策課
23	新潟開港150周年事業の推進	新潟開港150周年を契機とした、賑わいの創出や記念事業の盛り上げを民間企業や関係機関と連携して、引き続き取り組んでいきます。また、民間発の自主的な取組みをさらに促進していくことで、みなとまちの歴史・文化に対する市民の関心や誇りを高めるとともに、地域の総合力を向上させ、新たなまちづくりの推進につなげていきます。	/	—	R1で事業終了	政策企画部
24	クルーズ船の誘致推進	交流人口の拡大による地域活性化やみなとまち機運の醸成を図るため、寄港時の歓送迎対応や、乗客・クルーズ船社等へ新潟港・新潟市のアピールを行いクルーズ船の誘致に取り組みます。	・外国クルーズ船港湾施設 予約数 10件以上	○	◎ 外国クルーズ船港湾施設予約数 34件	観光推進課
25	マンガ・アニメを活かしたまちづくり	にいがたマンガ大賞やがたふえす(にいがたアニメ・マンガフェスティバル)、マンガ・アニメ情報館及びマンガの家における企画展などの開催により、「マンガ・アニメのまちにいがた」を発信し、国内外からの誘客促進を図り、地域活性化につなげます。	・がたふえすにおける古町商店街との協力体制による規模の拡大と、集客拡大 47,000人以上 ・マンガ・アニメ情報館とマンガの家の入館者 2館合計目標 140,000人	△	◎がたふえす来場者数:9,306人(リアルイベント参加:928人、オンライン参加:8,378人) ◎マンガ・アニメ情報館とマンガの家の入館者2館合計:115,781人 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 <取組結果> ・がたふえす:新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、規模縮小、単日開催で実施したため、来場者数の目標が達成できなかった。 ・マンガ・アニメ情報館とマンガの家の入館者:新型コロナウイルス感染症の影響により、休館や入場制限を設けたため、入場者数の目標が達成できなかった。 <今後の方針> ・新型コロナウイルス感染症対策を行い、事業を継続する。	文化政策課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
26	みなと新潟「光の響演」	光の演出などを活用し、みなとまち新潟の魅力を国内外に発信し、交流人口の拡大を図ります。	・ライトアップ演出によるまちなかの夜間の魅力を創出 ・光の演出などを活用し、ナイトタイムエコノミー推進に向けた取組みを検討・実施	○	◎古町商店街を会場に、10月23日から11月28日までの毎週金・土曜(延べ12日間)、「NIIGATA Furumachih☆ひかりの商店街」を開催。 ◎来場者数26,762人 ◎アンケート回答者に「光るプレスレット」を配布し、古町商店街の参加店舗で「光るプレスレット」を提示すると、様々なサービスが受けられる取組みを実施。 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・本市の厳しい財政状況を踏まえ令和3年度は休止とし、新たな財源の確保や民間主導の実施など、持続可能な実施方法の検討を継続。	文化政策課
27	古町芸妓の育成支援	みなとまち新潟の文化を象徴する古町芸妓の育成を支援し、本市の特徴ある観光資源の保全及びその発展を図ります。	・古町芸妓育成者数 27人	△	◎古町芸妓育成者数 24人 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・柳都振興(株)所属の芸妓2名が退職し、受講者が減ったため目標未達成となった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、芸妓がお座敷に上がる機会が減っていることが課題であるが、Youtubeによる配信など、新たな試みで活躍の舞台を広げている。 ・古町芸妓の認知度向上及び新規技能継承者を獲得するため、感染症の拡大・収束状況を見ながら継続して事業を実施する。	観光政策課
28	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた合宿誘致の推進	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、トップレベルの技術に市民が触れる機会を提供することによるスポーツの振興や、交流人口の拡大による地域経済活性化、メディアを通じた本市の魅力発信を目的に、ホストタウン相手国であるフランスやロシアナショナルチーム合宿の誘致を更に進め、実施します。	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会直前合宿の実施 ・スポーツイベント等の開催による機運醸成	△	◎全ロシア新体操連盟およびフランス空手連盟と2021年の実施に向けた協議を継続したほか、市内ジュニア選手からの応援メッセージを送付した。 ◎「東京2020オリンピック聖火を活用した地方創生事業」を活用した「オリンピック聖火展」、および「東京2020大会公式アートポスター展」を実施し、東京2020大会の機運醸成を図った。 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・東京2020大会1年延期により事前合宿、聖火リレーミニセレブレーション等は未実施。 ・国、組織委員会の定める感染症対策に基づき、全ロシア新体操連盟、フランス空手連盟と合宿受入れへ向けた協議を継続するとともに、聖火リレーミニセレブレーション、聖火フェスティバルを実施する。	スポーツ振興課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
再掲	観光客おもてなし態勢の促進	新潟駅を起点として、豊かな「農」やみなとまちで育まれた「食文化」などストーリー性のある観光エリアを形成するとともに、国内外からの観光客が快適に滞在し、行動できるよう、誘導サインの充実や多言語対応など、おもてなし態勢を整備します。	・さらなる充実・誘客促進	△	<p>◎H30、R1新潟ストーリープロジェクト事業で形成した市内6つの観光エリアの受入態勢強化及びコンテンツの磨き上げ、エリアの認知度向上を図ることを目的に、各エリア紹介記事の制作など各種事業を実施した。</p> <p>◎本市の魅力ある資源を活用した観光コンテンツの継続的な実施に必要な初期費用や、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて、外国人観光客の受入に必要な機器等を整備した民間事業者に対して支援を行った。</p> <p>【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、東京オリンピック・パラリンピック競技大会延期やインバウンド需要の低下により、事業内容により実施が困難となったものがあつた。 ・感染症収束後を見据え、新たな観光需要を捉えながら観光客の受入環境を強化していく。 	観光推進課
再掲	観光循環バスの運行	観光循環バスのダイヤ・ルート変更による効率的な運行とともに、老朽化した車両を更新し、観光客の市内中心部への利便性・回遊性の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ宿泊者数 2,278千人泊 ・観光入込客数 2,242万人 	△	<p>◎延べ宿泊者数 1,618千人泊</p> <p>◎観光入込客数 1,082.2万人</p> <p>・観光循環バスを運行し、市内中心部への利便性・回遊性の向上を図った。</p> <p>【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により外出の自粛やイベントの中止が相次いだため。 ・感染症が収束するまでについて、新潟交通など関係機関と連携し、現状の運行を維持することで、感染症収束後の早急な回復に備える。 ・感染症収束後は、感染症以前の利用者数までの早期回復を目指すため、ルート・ダイヤについての検証を行う。 	観光推進課

目指す区のすがた II 安心してすこやかに暮らせるまち

II-1 教育連携・社会教育

(1) 地域と学校でつくる「学びの未来」

◆区主体事業

取組評価：○：目標達成、△：一部目標未達成、×：未実施

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
29	地域と学校パートナーシップ事業	教育ビジョンにかかげる「学・社・民の融合による教育」を進めるため、学校に地域教育コーディネーターを配置して、学校と公民館や図書館等、地域を結ぶネットワークづくり、協働事業を推進します。 ※中央区内市立学校 小学校…18校、中学校…8校 中等教育学校…1校、高等学校…1校	・地域教育コーディネーターの活動支援 ・学校支援ボランティアの登録支援	○	◎コロナ感染症により研修会の開催が難しかったため、直接学校を訪問し、個別にコーディネーターとの面談を行い活動の支援を行った。 ◎学校支援ボランティア参加人数2,090人(1校当たり平均延べ人数) ※中央区全体延べ人数60,610人 ◎R2より明鏡高等学校にコーディネーターが配置され高校が2校に増えた。	教育支援センター (地域教育推進課)

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
30	防災教育の推進	各学校が行う防災教育の内容が、家庭や地域と連携した実践的な取組みとなるよう支援します。H27年度からR元年度まで市内の全小・中学校、中等教育学校、特別支援学校で実施します。	/	—	R1で事業終了	学校支援課
31	教育ミーティングの開催	各区の自治協議会委員等と懇談・意見交換を行い、全庁的な教育情報を伝えるとともに、地域における教育の実情や各区の特性などを把握することにより、これまで以上に地域に根差し、開かれた教育施策を実現します。	・中央区教育ミーティング 2回実施	△	◎区教育ミーティング実施回数 中央区1回開催(12月18日) ※コロナ感染症の影響により春季の開催を中止した。 【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 今後も実施方法、回数など内容を精査しながら実施	教育総務課

(2) 各世代への学びへの支援

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
32	にいがた市民大学の開設	現代的な課題など専門性の高い講座、時代や社会の変化・市民ニーズに対応した講座を開設する。受講後も学んだことが地域で生かされる学びの循環を目指し、受講生による自主グループ化を支援します。	・講座の開設 ・自主グループ化に向けた相談・支援	△	◎以下の講座を開設 ・特別講座3講座 受講者数203名 ・プレ講座 4講座 受講者数144名 【取組結果: △・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルスの影響により、前期講座を中止した。これにより、後期ゼミも実施できず、自主グループ化へつなげることもできなかった。なお、市民の生活スタイルに応じた多様な学習機会の場とするため、講座の一部に遠隔講義を導入した。令和3年度にいがた市民大学運営委員会で同大学のあり方を検討しているが、市民のライフステージや生活スタイルに応じた講座体系を構築しながら、より効果的・効率的に講座を開設していく。	生涯学習センター

II-2 協働

(1) コミ協、自治・町内会活動の活性化

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
33	地域主体の人口減少に関する取組推進事業 (区づくり事業)	他地域に先行して人口減少・高齢化が進む柳都中学校区内のコミ協や地域団体等を対象に、「買い物難民支援」をテーマとした研修会やワークショップを実施し、地域活動として実施可能な取組案を検討し、地域での自主的な取組みに繋げていきます。	・検討事業の実施	○	◎「はじめて、しもまち」プロジェクトの実施 ・地域の魅力を掘り起し、再編集してSNS等で発信 ・興味を持った人が現地を訪れることが出来るイベントを開催	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
34	地域提案型空き家活用への支援	空き家を資源としたまちづくりや地域活性化を図るため、自治会などが行う空き家の調査研究や空き家活用のためのリフォーム工事・跡地活用のための除却工事に係る費用の一部を助成します。	・補助の実施	○	◎補助実績 8件(中央区1件、北区1件、東区1件、秋葉区3件、西区1件、西蒲区1件) ・事業の統廃合により、令和2年度で事業終了 ・今後、自治会等による調査研究は、各区の地域活動補助金により支援し、地域による空き家の活用は「空き家活用推進事業」により支援する。	住環境政策課
35	地域コミュニティ協議会運営助成金	地域コミュニティ協議会の自立を促し、活動の環境を整備するため、広報紙の発行や事務局員の雇用など運営体制の強化を支援します。	・助成の実施	○	◎区内の全22地域コミュニティ協議会に対し、運営助成金を交付し、持続的な活動及び地域特性を生かしたまちづくり活動を支援	市民協働課
36	地域コミュニティの育成支援	多様化する地域課題や市民ニーズに効果的に対応するため、地域コミュニティ協議会の運営や活動を支援することを目的に、市民ニーズを把握するアンケート調査を実施し、その結果を活用した活動の見直し促進を行います。また、コミュニティセンター等の指定管理者への訪問指導(税務・労務)を実施します。	・地域コミュニティ協議会単位でのワークショップの実施 ・コミュニティセンター・コミュニティハウスの指定管理者への税労務指導・相談の実施	○	◎R1に募集した「モデルコミュニティ協議会」の中から、選定された2協議会(中央区、西区)について、活動見直しシートの作成など実施。 取り組みの内容を市ホームページ上において情報共有 ◎区内の1施設で税労務指導・相談を実施	市民協働課
37	地域活動補助金	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOなどによる地域課題の解決を図る活動及び備品の取得に対して補助を行います。	・補助の実施	○	◎地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPO等に対し、地域活動補助金を交付し、地域課題の解決を図る活動及び備品の取得に対し支援	市民協働課

(2) 男女共同参画の推進

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
38	男女共同参画地域推進員企画事業	男女共同参画地域推進員(各区3名)と協働で、男女共同参画の広報・啓発・推進につながる施策(イベントや講座等)を実施します。	・事業の実施	○	◎性別にとらわれない職業選択を考えるフリートーク講座開催 実施日:12月1日 会 場:関屋小学校(6年生23人、保護者・地域住民8人)	地域課

Ⅱ-3 健康・福祉

(1) 安心して子どもを産み、育てられるまちづくり

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
39	みんなでつながるにっこにこ子育て応援事業 (区づくり事業)	妊娠期から乳児期に安心して子育てができる体制づくりと、保健師・助産師等の専門職による切れ目ない支援を、地域の関係機関と連携・協働して行います。	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の開催回数 妊カフェ 12回 育カフェ 24回 育ばる12回 10か月の育ちの講座 24回 子育て支援ネットワーク会議2回 産科との連絡会議 2回 	△	<ul style="list-style-type: none"> ◎①妊カフェ開催:10回 ◎②育カフェ開催:28回 ◎③育ばる開催:10回 ◎④10か月育ちの講座:21回 ◎子育て支援ネットワーク会議 1回 ◎産科との連携会議 2回 (うち1回は書面開催) <p>【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため①②③は4・5月中止、④は4月中止、子育てネットワーク会議は1回のみ開催、産科との連携会議は2回のうち1回が書面開催となった。妊カフェ、育カフェ、育ばる、10か月育ちの講座は、感染対策をとりながら、会場開催またはオンラインで実施。</p>	健康福祉課
40	赤ちゃん誕生お祝い会支援事業 (区づくり事業)	地域の子育て中のママ・パパ同士の交流を促進するとともに、ママ・パパとそのほかの地域住民との交流促進も図り地域全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん誕生お祝い会の開催を支援 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域主催の赤ちゃん誕生お祝い会開催支援 申請団体数:10(うち取下2) 赤ちゃん参加人数:59人 ニーズに応じて会場に保健師を派遣し、育児相談を実施 支え合いのしくみづくり協力員と連携し地域団体を紹介 参加者にアンケートを実施、赤ちゃん誕生お祝い会が「今後の地域との交流のきっかけとなった」と回答した参加者の割合:85% 	健康福祉課
41	妊産婦の保健指導の促進	妊娠期から切れ目ない支援体制を整備し、安心して子育てができるように支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 保健師、マタニティナビゲーターによる支援の充実 安産教室の実施 特定妊婦の早期支援の充実 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎保健師、マタニティナビゲーターによる電話や訪問等による支援者数:259人 ◎安産教室実施数:計7回(1コース1回)、延べ参加者数90人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため7月まで中止。8月から感染予防対策のため、1回1コース、妊婦のみの参加として実施。 ◎特定妊婦の早期支援の充実 母子健康手帳交付時の面談で特定妊婦を早期に把握し、妊娠中から地区担当保健師が訪問・面接等で継続支援を開始 また、毎月、対象者の支援状況と次回支援方針の確認を実施 	健康福祉課
42	育児不安のある保護者への相談支援	育児に悩みや不安を持つ保護者が、不安を軽減でき安心して養育できるように支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 育児相談の実施 地域保健福祉センター及び健康センター 各12回 各種事業との連携強化 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎育児相談:実施回数36回(3会場)、延べ参加者数483人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4～6月までは中止。7月から感染予防対策のため定員を設け予約制で実施。 ◎子育て支援センター、子育てサークル等と連携した健康教育回数:16回、延参加者数292人 	健康福祉課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
43	保育園・支援センター訪問事業	生まれる前から、子育てに対する不安を軽減することを目的に、妊産婦を対象に保育園・子育て支援センターの訪問をとおして、安心して産み育てることができる意識を高めます。	・マタニティライフと赤ちゃんとの暮らしのスタート応援プログラム 各会場4回 ・開催場所 八千代子育て支援センター 鳥屋野子育て支援センター	△	◎マタニティプログラム(妊婦向け講座)開催 八千代子育て支援センター開催:3回 鳥屋野子育て支援センター開催:3回 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる臨時休館等の影響で開催回数を減らした。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、引き続き講座を開催し、妊婦の不安軽減や仲間づくりの場を提供する。	健康福祉課
44	児童虐待防止事業	要保護児童等に対する支援を確実に実施するため、児童虐待防止に係る関係機関どうしの緊密な連携体制の構築の一環として、関係機関職員や児童保護者等を対象とした啓発活動を実施します。	・児童虐待防止に係る啓発活動(研修・講座・会議等) 10回	○	◎児童虐待防止に係る啓発活動(研修・講座・会議等):10回	健康福祉課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
45	高齢・子育て世帯向け市営住宅の整備	老朽化し、現地での建替えが困難な市営日和山住宅について、市有地を活用して福祉施策(地域包括ケアシステム)と連携した建替えを行います。建替えにおいては、高齢者向け住宅(シルバーハウジング)や子育て世帯向け住宅の他、一般世帯向け住宅や障がい者向け住宅を整備します。		—	R1で事業終了	住環境政策課
46	放課後児童の健全育成(放課後児童クラブ)	利用児童数のさらなる増大が予測され、基準条例に沿った受入れ体制の強化と施設整備を行い、公設、民設ともに事業の充実・強化を図っていきます。公設クラブについては、指定管理者の再選定を実施し、R元年度から5年間、社会福祉法人やNPOなど7事業者に加え、地域で子育てを支援する環境を育むため、引き続き、2つのコミュニティ協議会が運営を行います。(計83クラブ)	・登録児童数の状況により、狭あい化している施設について整備を実施	○	◎市内3クラブの施設整備を行ったほか、教育委員会や学校と連携し学校内の余裕教室や体育館などの活用を進め、狭あい化解消を図った。	こども政策課
47	地域子育て支援拠点の運営	地域の身近な場所で、親子が交流を行う居場所の提供、子育ての不安や悩みを解消するための相談、情報提供などを行います。	・地域子育て支援センターの今後の方向性について検討	○	◎新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる臨時休館(令和2年4月20日～5月18日)を行ったが、再開後は計画通り子育て支援を実施し、子育て相談、親子遊びによる仲間づくりなどを通して、子育てに対する不安や孤独感の解消を図った。施設数の適正化に向けて事業者との協議も行ったが、現状維持となった。(市全体45施設、うち中央区8施設)	保育課

(2) 健やかでいきいきと暮らせるまちづくり

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
48	糖尿病予防事業 (区づくり事業)	区の健康課題である糖尿病について、多くの区民に関心をもってもらい、糖尿病の正しい知識や予防方法を啓発するためのイベントを、商業施設が集まる古町などの市街地で民間事業者・関係機関と協働して実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちなか健康フェスティバル」の開催 ・中央区内の飲食店でヘルシーランチの提供 ・まんがキャラクターを活用した啓発 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎まちなか健康相談室:11月7日開催 来場者119人超 ◎ヘルシーランチ:8店舗 2,982食 ◎まんがキャラクターを活用した啓発:区だよりにマンガ掲載、NEXT21等に横断幕を掲示、封筒・ポケットティッシュ・各種資料に33回 	健康福祉課
49	特定健診、がん検診の受診向上に向け、PRや周知の促進	特定健診及びがん検診の受診率向上を目的に、各種機会に健診のPRや周知を行い、受診勧奨を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・がん検診の受診勧奨の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎受診率が低い地区の41～65歳で2年連続未受診者へ受診勧奨。(チラシ郵送500人、受診勧奨電話250人) ◎特定健康診査受診者数 8,735人、受診率32.9% ◎受診勧奨用ティッシュの配布、区だより、自治会回覧、地域の健康教室、会議等で検診PRと受診勧奨を実施 ◎薬剤師会、郵便局、社会福祉協議会、出張所と連携して受診勧奨実施 	健康福祉課
50	特定保健指導や健康相談事業の促進	生活習慣病予防を目的に、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の方などに対し特定保健指導を実施します。また、定例日健康相談を行い、地域住民が自らの健康管理ができるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導未利用者へ電話案内 ・骨粗しょう症予防相談会の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎特定保健指導への参加を促すため、未利用者へ再案内の送付、電話による勧奨実施:144人 初回特定保健指導実施率:9.5% ◎骨粗しょう症予防相談会:4回開催 100人実施、 ◎定例日健康相談 開催数:29回、利用者数:146人 ※4～5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、1月は大雪で中止の会場あり。 	健康福祉課
51	健康教育事業の促進 健康寿命延伸に向けた取組み	健康寿命延伸に向け、地域・市民と協働した取組みを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の飲食店で糖尿病ヘルシーランチの提供 ・Let's Try糖尿病予防セミナーの開催(ヘルシーランチ付、運動セミナーと同時開催) ・健康増進普及講習会の開催 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎ヘルシーランチ:8店舗 2,982食 ◎糖尿病予防セミナー:6回開催(講義・血液検査2回1コース×3回)、48人参加(定員50人)、フォローアップ相談会:4回 ◎健康増進普及講習会:9回開催 71人参加 	健康福祉課
52	食生活改善推進委員、運動普及推進委員の育成・支援	食生活改善推進委員、運動普及推進委員のボランティア育成を目的に、養成講座や委員の勉強会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動普及推進委員、食生活改善推進委員の育成事業の充実 ・食生活改善推進委員勉強会年6回実施予定 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動普及推進委員の勉強会:5回開催 54人参加 ◎食生活改善推進委員勉強会:4回開催 50人参加 ※運動普及推進委員、食生活改善推進委員養成講座は各区輪番で開催しており、中央区は令和2年度の実施なし 	健康福祉課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
53	運動体験や運動習慣の定着及び介護予防の支援	高齢者が閉じこもりや寝たきりにならず、いきいきと充実した生活を送るために、地域主体の介護予防の取組みを支援します。	・保健師、療法師、歯科衛生士等が地域の茶の間や自治会・町内会等に出向き、介護予防の健康教育を実施	○	◎依頼健康教育:回数28回、延参加者数562人 ◎地域の茶の間における認知症予防事業(やろてば体操・楽しく脳トレ):回数6回、延参加者数77人 ◎幸齢ますます元気教室の修了生による自主リハビリサークル支援:回数39回、延べ280人 ◎一次予防介護予防教室(東・中央C):回数9回、延参加者数103人 ◎口腔器の機能向上事業:回数1回、延参加者数15人	健康福祉課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
54	健康寿命の延伸に向けた取組み(地域課題に応じた取組み、企業が自ら「健康経営」に取り組むための支援)	企業・団体等と連携し、市民の健康意識の醸成に向けた啓発を行うとともに、専門職の派遣やセミナー開催など、企業等の「健康経営」の取組みを支援します。 また、地域の健康課題解決に向けた取組みを実施するとともに、コミュニティ協議会などの自主的な健康づくり活動を支援します。 ※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。	・「健康経営」に取り組む企業・団体の募集、支援の拡充 ・健康づくりに関する市民啓発 ・健康寿命延伸アワードのコミ協部門・一般部門を統合 ・各区において、地域の健康課題の解決に向けた取組みを実施	○	◎「健康経営」に取り組む企業・団体の認定・支援 ・新規認定企業・団体数:46 ・専門職の派遣 (職場改善コース:40事業所、健康づくりコース:36事業所) ・集合型セミナー:2回 ・経済部等と連携したセミナー(1回)・フォーラム(1回)開催 ◎健康づくりに関する市民啓発(パンフレット作成、新聞折込チラシ配布、ラジオを活用した広報など) ◎コミュニティ協議会の自主的な健康づくり活動の支援 ・地域版にいがた未来ポイントを交付(46コミ協) ・事業を見直し一般部門を廃止。健康寿命延伸アワードの表彰に代え、優秀な活動を他コミ協に周知した。 ◎各区において、地域の健康課題解決に向けた取組みを実施(特定健診受診勧奨、生活習慣病予防教室開催など)	保健衛生 総務課 保健所 健康増進課

(3) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしつづけられるまちづくり

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
55	話そう・つながろう・あなたの想い 終活きっかけづくり事業 (区づくり事業)	独居高齢者や身寄りのない高齢者が、事前に意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ、安心して暮らし続けられるよう、関係機関と連携・協働して支援します。	・地域別人生会議 6回 ・意思決定サポーター育成	○	◎地域別人生会議 開催回数9回、参加者数132人 ◎民生委員研修 開催回数17回、参加者数343人 ◎専門職研修 専門職153人受講。受講者アンケートで「満足度」「ACPの大切さ理解度」とともに100%。 ◎区民啓発 リーフレットの作成等	健康福祉課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
56	介護予防・日常生活支援総合事業	新たにフレイル(虚弱)予防を取り入れ、介護予防の取組みを強化するとともに、総合的な認知症対策を推進します。	・フレイルチェック実施回数 12回	△	◎既実施地域のほか、中央区の宮浦・東新堀圏域、関屋・白新圏域と 北区、秋葉区の各1圏域でフレイルチェックを実施。 フレイルチェック実施回数:11回 うち中央区5回 参加延べ人数:190人 うち中央区60人 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナ感染拡大防止のため7月までの回を中止としたため。感染拡大防止策を講じながら引き続き実施していく。	地域包括ケア推進課
57	地域の茶の間の推進	誰もが気軽に集まり、交流できる場である地域の茶の間を通じ、住民同士が支え合うしくみづくりの構築を進めるため、実施主体への助成を行い、地域の茶の間の更なる設置拡大を図ります。	・地域の茶の間への支援(市助成)件数 495件 うち中央区 72件	△	◎市補助・助成件数 483件 うち中央区 68件 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催箇所が減少し、数値目標未達成。引き続き、運営団体の創出を促進していく。	地域包括ケア推進課
58	支え合いのしくみづくり会議・推進員の活動推進	支え合いのしくみづくり推進員が中心となり、地域で不足する支援やサービスを創出する取組みを推進します。	・住民主体の生活支援実施団体数 30団体 うち中央区3団体 ・助け合いの学校修了者数(累計) 610人 うち中央区 87名	△	◎住民主体の訪問型生活支援実施団体 全市 18団体 うち中央区 1団体 ◎助け合いの学校は実施無し 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・地域からの要望がなかったため助け合いの学校の開催はなく、数値目標未達成。引き続き、住民主体の生活支援を行う団体の創出を促進していく。	地域包括ケア推進課
59	在宅医療・介護連携の推進	切れ目なく一体的に在宅医療・介護サービスを提供できるよう、在宅医療を支える医師、訪問看護師の人材確保、育成支援に取り組むほか、在宅医療・介護連携ステーション/センターが医療・介護関係機関間、専門職間の連携を活性化し、協働体制の確立に努めます。併せて、市民啓発を推進するとともに、地域包括支援センターなど地域の関係機関等の連携強化を通じて、地域包括ケアシステムの構築を推進します。	・在宅医療・介護連携ステーション/センターの運営 ・中央区では、2か所のステーションが関係機関との連絡会を開催	○	◎医療・介護関係者等の相談窓口の設置および相談支援、医療と介護の顔の見える関係づくりの支援(研修会、情報交換会等)を実施。 ◎地域包括支援センターとの連絡会を通して、地域課題の共有および課題解決のための検討、研修会を行った。 ◎ご当地連携研修会 年5回	地域医療推進課
再掲	高齢・子育て世帯向け市営住宅の整備	老朽化し、現地での建替えが困難な市営日和山住宅について、市有地を活用して福祉施策(地域包括ケアシステム)と連携した建替えを行います。建替えにおいては、高齢者向け住宅(シルバーハウジング)や子育て世帯向け住宅の他、一般世帯向け住宅や障がい者向け住宅を整備します。		—	R1で事業終了	住環境政策課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
60	健康になれるまちづくりの推進	市民の健康寿命の延伸・健康都市づくり(スマートウェルネスシティ)を推進するため、市民が積極的に外に出かけ、活動量が増えるきっかけになるよう「にいがた未来ポイント事業」を実施します。また、働き盛り世代の運動習慣の定着を目的に「ウォーキングチャレンジ」を実施します。	・未来ポイントの対象事業の拡大、ポイント制度の見直し結果に基づくシステムの改修	△	◎未来ポイント ・累計参加者数16,436人 R2年度延参加者数246,935人 ・制度を見直した結果、2020年度末でポイント発行を終了とした。 ・対象事業(単発):25事業 ◎ウォーキングチャレンジ 参加者数:87事業所、1,958人 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の影響による、体育施設の利用の制限や対象事業の縮小のため参加人数、対象事業数が伸びなかった。今後は未来ポイント事業終了に伴い、誰もが参加しやすい事業として、ウォーキングチャレンジの対象や実施回数を拡大し、市民全体の平均歩数の増加や運動習慣の定着を目指す。	保健所 健康増進課

(4) 障がいのある人もない人も共に認め合い、いきいきと暮らせるまちづくり

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
61	障がい者への理解を深める啓発	中央区職員を対象とした障がい者への介助や対応方法などを学ぶ研修を実施します。	・1回	○	◎障がい者への理解を深める啓発研修の開催 開催数:1回 参加者数:34人	健康福祉課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
62	障がい者基幹相談支援センターの運営	障がいのある方からの相談や情報提供などの支援を行うほか、「共生のまちづくり条例」に係る障がい等を理由とする差別相談機関として、障がい者(児)が安心して地域で暮らせるよう、相談支援体制の強化を図ります。	・基幹相談支援センターにおける相談者への総合的な支援の実施 相談件数 31,000件	△	◎相談件数 市内4基幹センター合計:22,912件 うち中央区居住者相談件数:5,505件 (共生のまちづくり条例に係る対応8件含む) 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・各センターにおける集計方法の統一化を図ったため、相談件数が減少した。(1つの相談に対して関係機関との連絡や調整を別カウントとしていたが、1件の相談とすることとした。) ・区役所窓口での一般相談受付との役割整理を行ったため。(これまで一般的な相談でも基幹相談支援センターへつながれるケースがあったが、基本的には一般的な相談は区役所窓口で対応してもらい、困難ケースを基幹へつなぐようにすることとした。) ・今後は多様化する相談ニーズに対応するため、常に職員研修などを行いながら、地域の相談者や相談機関とつながるための中核的な役割を担うなど、市内の相談支援体制強化を念頭においた事業展開を行う。	障がい福祉課

(5) 生活困窮者への支援

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
63	生活保護受給者の自立支援	生活保護受給者に対する自立支援事業として、早期就労に向け、ハローワークとの連携による就労支援、親から子への貧困の連鎖の防止を目的とした学習支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 就労自立支援事業 参加人数 240人 学習支援事業 子ども勉強会の対象者 に対する参加割合 50% 支援員による家庭訪問 10回 	△	<ul style="list-style-type: none"> ◎就労自立支援事業 事業への参加人数 190人 ◎学習支援事業 子ども勉強会の対象者 に対する参加割合 50% 支援員による家庭訪問 12回 <p>【取組結果: △・×の理由及び今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響による求人の減少に加え、その求人に対しても、失職した方や給付金等が終了した方々の求職もあり、生活保護受給者の就労が困難であった。 ・就労支援、就労準備支援においては、情勢に合わせた支援をしていく。 	保護課

II-4 防災・防犯

(1) 災害に強い地域づくり

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
64	防災人材育成・地域づくり事業 (区づくり事業)	発災時に地域が主体となる自主防災活動や、区民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような体制づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイパージュニアレスキュー訓練のアンケートで「災害時の優先した行動」との回答 80% ・自主防災組織の防災資機材整備への補助金 ・避難行動要支援者との関係づくり (H30-31で1,300人啓発) ・地域版自主避難マップ作成 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎ハイパージュニアレスキュー講習会を開催。公募参加型から学校個別開催へ変更し、3校で実施。優先した行動意識度は97% ◎防災組織への資機材助成では 6組織が申請・交付を実施。 ◎避難行動要支援者関係づくり事業では、104組織992人へ交付。支援者と要支援者のコミュニケーションづくりを推進。 ◎2つのコミ協で地域版自主避難マップの作成・配布を支援 	総務課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
65	中央消防署附船出張所移転新築	しも町地区における地域と連携した災害活動拠点として、附船出張所を旧入舟小学校グラウンド跡地に移転新築します。H30年度に基本・実施設計、R元年度に建築工事を行います。	・供用開始	○	令和元年度に前倒して共用開始済。(R2.3 供用開始)	消防局 総務課
66	防災知識の普及啓発	全市一斉地震対応訓練の実施により、一人ひとりの防災意識向上につなげていくほか、5年に1度の県市総合防災訓練を実施し、関係機関との連携を強化します。また、女性の視点を取り入れた防災講座を開催します。	・地震対応訓練(6/16)の実施 参加者前年度以上 ・親子防災講座の実施 ・総合ハザードマップの周知啓発	△	◎地震対応訓練:目標53,884人以上に対し56,428人 ◎親子防災講座:3講座実施 ◎総合ハザードマップの周知啓発:講習会・さわやかトークなど、時機を見て継続的に周知・啓発を実施。市報等による広報実施。 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・地震対応訓練については、平日開催となり行政機関や民間企業の参加が増加したものの、新型コロナウイルスの影響で医療機関、大学等の参加が激減し、昨年度からの微増にとどまったものと推測される。 ・県市防災訓練は、県内市町村輪番での実施となるため、今年度は計画されていない。 ・親子防災講座は、新型コロナウイルスの影響で3回の実施にとどまった。 ・引き続き、訓練参加への呼びかけやハザードマップの周知など、平時からの防災知識の普及・啓発を図っていく。	防災課
67	地域防災力の育成	自主防災組織の結成・活動に対する支援や、防災士への研修充実により、地域における防災活動のさらなる活性化を図ります。	・自主防災組織実施防災訓練 参加者人数 前年度以上 ・防災士研修会開催	△	◎自主防災組織実施防災訓練参加者人数:目標55,865人以上に対し15,790人 ◎防災士研修会:実績4回 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルスの影響により、防災訓練の中止や規模縮小する地域が多かったため、参加人数は大幅に減少した。また、R2.8月に、助成内容の拡充を行ったものの、目標達成に至らなかった。 ・感染症対策を踏まえた訓練を地域で継続的に実施できるよう、区と本庁が連携し助成制度の周知をしていく。 ・防災士研修会については、新型コロナウイルスの影響により一部研修が開催できなかったものの、各研修会を複数会期で実施し、十分な成果を得ることができた。	防災課
再掲	防災教育の推進	各学校が行う防災教育の内容が、家庭や地域と連携した実践的な取組みとなるよう支援します。H27年度からR元年度まで市内の全小・中学校、中等教育学校、特別支援学校で実施します。		—	R1で事業終了	学校支援課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
68	公共下水道の整備	健全で持続可能な下水道サービスを提供し、市民の安心・安全な暮らしを守り、環境にやさしく快適な暮らしを支えるため、以下の事業を推進します。 ・浸水対策施設の整備 ・地震・津波対策の推進 ・下水道施設の機能確保と計画的な改築	・浸水対策施設の整備(新潟駅周辺地区の対策強化) ・下水道施設の耐震化、計画的な改築の実施	○	◎ 浸水対策施設の整備(新潟駅周辺地区の対策強化) ・鳥屋野・万代・下所島排水区雨水バイパス管下水道工事の推進 ◎ 下水道施設の耐震化、計画的な改築の実施 ・下水道管渠の耐震化(網川原幹線 他) ・下水道管渠の改築(船見、早川堀、川端、万代排水区) ・処理場施設の改築(中部下水処理場 ケーキホッパ 機械設備 他) ・ポンプ場施設の改築(白山公園ポンプ場 雨水ポンプ原動機 他)	下水道計画課

(2) 交通安全の推進

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
69	幼児や児童生徒、高齢者向けの交通安全教室の実施及び街頭における交通安全指導・啓発	各幼稚園・保育園・小中学校や老人クラブ等を対象に交通ルールの確認や自転車の乗り方などについて講習を行うとともに、地域と警察、交通安全関係団体と連携しながら、街頭で交通安全運動の指導や啓発を行い、交通安全に関する意識の向上を図ります。	・通年で教室を開催 ・交通安全運動にあわせて街頭指導	○	◎各年代に合わせた交通安全教室を開催 123回 ◎交通安全運動期間中に街頭指導を実施 9回	総務課

(3) 防犯対策の取組み

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
70	犯罪のない地域づくり事業 (区づくり事業)	中央区では特殊詐欺の発生件数・被害額ともに突出していることから、高齢者を主な対象として区役所独自の働き掛けにより特殊詐欺に対する注意喚起を行います。 【参考】 H29: 発生件数26件 被害額約2億6千万円 H30: 発生件数8件 被害額約1千100万円	・高齢者を主な対象として、直接届く働き掛けを実施	○	◎特殊詐欺への注意を喚起するチラシ、啓発物を作成し配布。 ・区役所及び出張所への来庁者 ・県警や地域の防犯団体とともに実施する街頭啓発活動での配布。 ・協力事業者より訪問啓発をしてもらい配布。 訪問啓発2,000件	総務課
71	高齢者に対する防犯教室の実施及び地域住民や関係機関による繁華街のパトロール活動	高齢者に対して振り込め詐欺に関する注意喚起を行うとともに、地域住民や警察、関係行政機関などが連携して、繁華街において、客引きの自粛とゴミ拾いを目的としたパトロールを行います。	・通年での教室の開催 ・パトロールの実施	○	◎高齢者交通安全教室に合わせて、特殊詐欺に関する注意喚起を実施 11回 ◎繁華街での防犯パトロールを実施 15回	総務課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
72	防犯カメラ整備補助金	子どもたちの安全確保のため、地域における見守り活動の補完を目的として、自治会・町内会等が設置する防犯カメラの整備費用の一部を補助します。	・自治会・町内会等への補助金交付	○	◎市内90団体より防犯カメラ221台分の交付申請があり、全件に対し補助金交付(うち中央区は27団体より68台分の交付申請)	市民生活課
再掲	地域提案型空き家活用への支援	空き家を資源としたまちづくりや地域活性化を図るため、自治会などが行う空き家の調査研究や空き家活用のためのリフォーム工事・跡地活用のための除却工事に係る費用の一部を助成します。	・補助の実施	○	◎補助実績 8件(中央区1件、北区1件、東区1件、秋葉区3件、西区1件、西蒲区1件) ・事業の統廃合により、令和2年度で事業終了 ・今後、自治会等による調査研究は、各区の地域活動補助金により支援し、地域による空き家の活用は「空き家活用推進事業」により支援する。	住環境政策課

II-5 生活環境

(1) 清潔で環境にやさしいまちづくり

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
73	3R意識啓発の強化	3Rのさらなる意識啓発に向けて、情報紙「サイチョプレス」のデザインを見直すとともに、ごみ分別アプリの普及に努めます。また、「20・10・0運動」など、食品ロス削減に向けた意識啓発を図ります。	・ごみ分別アプリ 累積ダウンロード 件数42,000件	△	◎ごみ分別アプリ累積ダウンロード件数 16,179件 【取組結果: △・×の理由及び今後の方針】 ・令和2年度より、新規アプリに入替が行われたため、ダウンロード数がこれまでの累計ではなくなり、ダウンロード数が大幅に減少した。情報紙「サイチョプレス」は継続し年6回発行し、食品ロスやごみの分別などの啓発を行った。食品ロス削減については、未就学児・小学校低学年向け学習動画や、啓発パンフレットを作成し、市民への意識啓発を図った。今後も引き続き、3Rに対する市民の意識向上に努める。	循環社会推進課

目指す区のすがた Ⅲ 水と緑が調和したやすらぎのあるまち

Ⅲ-1 水辺

(1) 水辺に親しめる環境の整備

◆区主体事業

取組評価：○：目標達成、△：一部目標未達成、×：未実施

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
74	とやの物語 《NEXT STORY》 (区づくり事業)	鳥屋野潟の自然に触れ、未来を語り合うとともに、自然環境の大切さを啓発するイベントとして「とやの物語」を実施するとともに、新たに他団体との連携など、多角的な活動に取り組みます。	・「とやの物語」の開催 参加者数 4,000人以上	△	◎ 出前講座の参加者数2,000人 【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため計画していたイベントを中止し、出前講座、パネル展の開催、映像教材の作製等の環境啓発事業を実施した。 ・今後も、出前講座、パネル展の開催、映像教材の作製等の環境啓発事業を継続していく。	窓口 サービス課
75	鳥屋野潟の整備 (湖岸堤及び周辺施設の整備)	鳥屋野潟の湖岸堤整備による洪水時の貯留機能の確保と、これに伴う潟の自然環境や景観の保全に配慮し、利便性・快適性を確保します。 また、鳥屋野潟の堤防整備と併せて県立鳥屋野潟公園の整備を促進し、県事業と整合のとれた周辺道路の整備についても推進していきます。	・県主催の住民説明会に協力 ・周辺道路の整備推進	○	◎鳥屋野潟全体を4期に分け、第1期区間に位置づけた長潟地区(約1,020m)、上沼地区の一部(約360m)において、道路整備に向けて事業を進めた。 ◎令和2年度は、県と協力しながら用地取得を行った。 ・引き続き、用地取得を行い道路整備を進める。 ◎説明会への対応を想定していたが、令和2年度は開催されなかった。	建設課 (土木総務課、 公園水辺課)
76	海水浴場PR事業	新潟市・新潟県観光協会の観光情報サイトの活用など、様々な手法で海水浴場のPRを行います。	・PR実施	○	◎新潟市や新潟県観光協会のほか、無料の観光情報誌やサイト等への掲載を行い、PRを実施。	地域課

(2) アクセシビリティ・回遊性を高める海辺づくり

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	海水浴場PR事業	新潟市・新潟県観光協会の観光情報サイトの活用など、様々な手法で海水浴場のPRを行います。	・PR実施	○	◎新潟市や新潟県観光協会のほか、無料の観光情報誌やサイト等への掲載を行い、PRを実施。	地域課

(3) 美しい水辺があるまちづくり

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
77	鳥屋野潟一斉清掃	S59年から実施している清掃活動を地元コミ協、自治会、各種団体、学校などと協力し、行います。	・鳥屋野潟一斉清掃の実施	×	【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止した。 ・今後は、感染状況を注視しながら開催可否を検討していく。	窓口 サービス課
78	日和山浜海岸清掃	H8年から毎年海の日に新潟市で実施している海岸清掃の内、中央区では地元コミ協、自治会、各種団体、学校などと協力し、日和山浜海岸の清掃を実施します。	・日和山浜海岸清掃の実施	×	【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止した。 ・今後は、感染状況を注視しながら開催可否を検討していく。	窓口 サービス課
79	関屋浜海岸清掃	関屋小学校区青少年育成協議会が主体となって関屋小学校児童の他にも各種団体が参加し、関屋浜海岸の清掃を実施します。	・関屋浜海岸清掃の実施	×	【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため中止した。 ・今後は、感染状況を注視しながら開催可否を検討していく。	窓口 サービス課

Ⅲ-2 緑化

(1) 自然環境との共生

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
80	区民協働森づくり事業 (区づくり事業)	新潟島の海岸林の必要性・重要性を広く区民に周知させる先導的な取組みとして、旧市営汐見台住宅跡地周辺において、児童らとの協働により、クロマツの植樹を行います。	・継続的な森の管理 クロマツの植樹	○	◎区民協働による抵抗性クロマツ苗830本の植樹実施(イベント2回開催)	建設課

(2) 居住空間の緑化推進

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
81	緑化活動推進助成事業	緑豊かな街並みづくりを推進するため、公園をはじめ、市公共施設や道路用地での緑化を行う団体に対して、花苗などの購入費の一部を補助します。	・40件	△	◎助成団体数 34団体 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・高齢化のため、年々活動団体が減少している。 ・当該制度の趣旨を地域に周知し、既存団体の活性化及び新規団体の増加に取り組む	建設課 (公園水辺課)

目指す区のすがた IV 未来につなぐ歴史・文化のまち

IV-1 歴史・文化

(1) 未来に向けた歴史・文化の継承

◆区主体事業

取組評価：○：目標達成、△：一部目標未達成、×：未実施

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
82	北前船がもたらした伝統的産業のPR事業 (区づくり事業)	開港150周年を意識しつつ、北前船と密接に関連する伝統的産品である「新潟漆器」と「発酵食」に加え、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」についてもその魅力を再発見してもらい、次世代への普及促進とともにこれらの産業の振興を図ります。	各事業の実施 ・新潟漆器利用促進事業 ・味噌づくりカリキュラム ・料亭の味と芸妓の舞 ・古町芸妓によるPR事業	△	◎新潟漆器利用促進事業の実施：採用7店舗 ◎味噌づくりカリキュラムの実施：中止 ◎料亭の味と芸妓の舞の実施：中止 ◎古町芸妓によるPR事業の実施：6回 【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 ・「味噌作りカリキュラム」と「料亭の味と芸妓の舞」は新型コロナウイルスの影響により中止したため、目標達成に至らなかった。 ・古町芸妓振興事業は各種ガイドラインを遵守し、感染症対策を徹底したうえで継続する。 ・発酵食については内容の見直しを図りながらPR事業を継続して実施する。	地域課
再掲	地域のお宝！再発見事業【まち歩き(えんでこ)】 (区づくり事業)	中央区の地域資源に対し、市民(特に区民)が関心を深め、シビックプライドの涵養につなげるために、新潟シティガイドによる解説付まち歩き(えんでこ)や提案型によるまち歩き、伝統文化PR事業の推進などを行います。	・「まち歩き」参加者数 700人 ・参加者へのアンケート結果で「中央区の魅力を再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持た」と回答した人の割合 80%以上	△	◎「まち歩き」参加者数 143人 ◎アンケートで「中央区の魅力を再発見したり、地域資源に誇りや愛着を持た」と回答した人の割合 98% 【取組結果：△・×の理由及び今後の方針】 ・前期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全日程を中止、後期は回数・定員を通常より縮小し実施したため、参加者数の目標達成には至らなかった。 ・今後も感染症対策を徹底しながらまち歩き事業を継続し、市民(特に区民)の中央区の地域資源に対する関心を深める。	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	新潟開港150周年事業の推進	新潟開港150周年を契機とした、賑わいの創出や記念事業の盛り上げを民間企業や関係機関と連携して、引き続き取り組んでいきます。また、民間発の自主的な取組みをさらに促進していくことで、みなとまちの歴史・文化に対する市民の関心や誇りを高めるとともに、地域の総合力を向上させ、新たなまちづくりの推進につなげていきます。	/	—	R1で事業終了	政策企画部

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
再掲	古町芸妓の育成支援	みなとまち新潟の文化を象徴する古町芸妓の育成を支援し、本市の特徴ある観光資源の保全及びその発展を図ります。	・古町芸妓育成者数 27人	△	<p>◎古町芸妓育成者数 24人</p> <p>【取組結果: △・×の理由及び今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳都振興(株)所属の芸妓2名が退職し、受講者が減ったため目標未達成となった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、芸妓がお座敷に上がる機会が減っていることが課題であるが、Youtubeによる配信など、新たな試みで活躍の舞台を広げている。 ・古町芸妓の認知度向上及び新規技能継承者を獲得するため、感染症の拡大・収束状況を見ながら継続して事業を実施する。 	観光政策課
再掲	魅力の発信・誘客の推進	本市へのさらなる誘客につなげるため、ガストロノミー(食文化)ツーリズムやみなとまち文化をはじめ本市の個性を生かした着地型観光コンテンツの強化を図るとともに、様々なメディアを活用した効果的な情報発信を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ宿泊者数 2,278千人泊 ・観光入込客数 2,242万人 	△	<p>◎延べ宿泊者数 1,618千人泊</p> <p>◎観光入込客数 1,082万人</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により人の往来が実質的に制限される中、状況に合わせた着地型コンテンツの充実や必要な情報提供に取り組んだ。</p> <p>【取組結果: △・×の理由及び今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により外出の自粛やイベントの中止が相次いだため、延べ宿泊者数、観光入込客数ともに激減した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により宿泊業をはじめとした観光業が甚大な影響を受けており、その影響が長期化している。ウィズコロナ・ポストコロナ時代に即した情報発信を行う。 	観光政策課

IV-2 産業

(1) 最大消費地を活かした地場産品の消費拡大

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	北前船がもたらした伝統的産業のPR事業 (区づくり事業)	開港150周年を意識しつつ、北前船と密接に関連する伝統的産品である「新潟漆器」と「発酵食」に加え、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」についてもその魅力を再発見してもらい、次世代への普及促進とともにこれらの産業の振興を図ります。	各事業の実施 ・新潟漆器利用促進事業 ・味噌づくりカリキュラム ・料亭の味と芸妓の舞 ・古町芸妓によるPR事業	△	◎新潟漆器利用促進事業の実施:採用7店舗 ◎味噌づくりカリキュラムの実施:中止 ◎料亭の味と芸妓の舞の実施:中止 ◎古町芸妓によるPR事業の実施:6回 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・「味噌作りカリキュラム」と「料亭の味と芸妓の舞」は新型コロナウイルスの影響により中止したため、目標達成に至らなかった。 ・古町芸妓振興事業は各種ガイドラインを遵守し、感染症対策を徹底したうえで継続する。 ・発酵食については内容の見直しを図りながらPR事業を継続して実施する。	地域課

(2) 伝統産業の育成・支援

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	北前船がもたらした伝統的産業のPR事業 (区づくり事業)	開港150周年を意識しつつ、北前船と密接に関連する伝統的産品である「新潟漆器」と「発酵食」に加え、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」についてもその魅力を再発見してもらい、次世代への普及促進とともにこれらの産業の振興を図ります。	各事業の実施 ・新潟漆器利用促進事業 ・味噌づくりカリキュラム ・料亭の味と芸妓の舞 ・古町芸妓によるPR事業	△	◎新潟漆器利用促進事業の実施:採用7店舗 ◎味噌づくりカリキュラムの実施:中止 ◎料亭の味と芸妓の舞の実施:中止 ◎古町芸妓によるPR事業の実施:6回 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・「味噌作りカリキュラム」と「料亭の味と芸妓の舞」は新型コロナウイルスの影響により中止したため、目標達成に至らなかった。 ・古町芸妓振興事業は各種ガイドラインを遵守し、感染症対策を徹底したうえで継続する。 ・発酵食については内容の見直しを図りながらPR事業を継続して実施する。	地域課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	地域のお宝！再発見事業 【伝統文化PR事業】 (区づくり事業)	中央区の地域資源に対し、市民(特に区民)が関心を深め、シビックプライドの涵養につなげるために、新潟シティガイドによる解説付まち歩き(えんでこ)や提案型によるまち歩き、伝統文化PR事業の推進などを行います。	・伝統文化PR参加施設数 8施設	△	<ul style="list-style-type: none"> ・旧齋藤家別邸庭園築造100周年記念シンポジウムの実施 ・旧齋藤家別邸屋外型施設案内板の設置 【取組結果: △・×の理由及び今後の方針】 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により施設連携イベントは実施しなかったため。 ・施設間の連携強化及び中央区伝統文化のPRにおいて一定の効果を得られたため、令和2年度で伝統文化PR事業は終了する。 	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	古町芸妓の育成支援	みなとまち新潟の文化を象徴する古町芸妓の育成を支援し、本市の特徴ある観光資源の保全及びその発展を図ります。	・古町芸妓育成者数 27人	△	◎古町芸妓育成者数 24人 【取組結果: △・×の理由及び今後の方針】 <ul style="list-style-type: none"> ・柳都振興所所属の芸妓2名が退職し、受講者が減ったため目標未達成となった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、芸妓がお座敷に上がる機会が減っていることが課題であるが、Youtubeによる配信など、新たな試みで活躍の舞台を広げている。 ・古町芸妓の認知度向上及び新規技能継承者を獲得するため、感染症の拡大・収束状況を見ながら継続して事業を実施する。 	観光政策課

(3) 魅力あふれる商業の振興

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	中央区拠点商業活性化推進事業の実施	中央区拠点商業活性化推進事業計画(H26～R1年度)に位置付けた事業を重点的に支援し、区の商店街活性化を推進します。	・支援実施	○	◎賑わい創出の支援を継続し、商店街活性化事業等の支援を実施した。	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
83	中小企業生産性向上設備投資補助金	中小製造業の経営力強化及び産業振興を推進するため、生産性や品質の向上を図る設備投資に要する費用に対し支援します。	・支援企業数:49件	△	◎支援企業数:31件(うち中央区所在企業:4件) 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 支援件数は目標未達成だったが、支援企業の作業効率化や品質向上を図ることが出来たほか、コロナ禍により毀損したサプライチェーン対策を図る事業者への支援を行った。引き続き中小製造業に対する設備投資を支援し、産業の活性化を図っていく。	企業誘致課
再掲	次世代につながる魅力ある店舗への支援	売上・来店者数増加のために行う魅力的な店舗への改装や、商店街の空き店舗を活用した地域課題の解決等を行う取組みを支援します。また、地元商店街と連携した古町地区の空き店舗活用支援のため、制度を一部拡充します。	【次世代店舗支援事業費の交付】 ・前年度以上(全事業)	△	◎新規採択件数 〈次世代店舗支援事業〉 ・既存店魅力向上事業 R2年度:24件(うち中央区15件) R1年度:27件(うち中央区15件) ・商店街空き店舗活用事業 R2年度:1件(うち中央区1件) R1年度:2件(うち中央区2件) ・中心商店街活性化支援事業 R2年度:3件(うち中央区3件) R1年度:0件 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・既存店魅力向上事業及び商店街空き店舗活用事業においては目標達成に至らなかったものの、中心商店街活性化支援事業については関係機関との積極的な情報共有を図り、採択件数は前年度から増加した。 ・令和3年度は、よりニーズにあった事業への見直しを行い、次世代店舗支援事業を廃止し、新たに古町地区空き店舗活用事業、商店街空き店舗活用事業の2事業で、事業者による空き店舗への出店を支援していく。	商業振興課
84	中小企業開業資金(保証料補助・利子補給)	市制度融資の中小企業開業資金を利用する際、利用時に必要な信用保証料の全部または一部を補助するとともに、特定創業支援等事業の支援を受け創業する方については、市制度融資実行後3年間無利子とし、新規開業を支援します。	・信用保証料の補助ならびに利子補給の実施 ・新規貸付件数 前年度以上	△	◎開業時に必要な資金調達の円滑化を図り、利子補給による優遇措置を実施した。 ◎新規貸付件数:131件 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で目標件数に届かなかったが、信用保証料補助、利子補給の実施により、創業者の資金繰りを支援した。 ・引き続き、事業者の資金繰り支援のため、制度の周知を図る。	商業振興課

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	創業時の賃料補助(店舗)	本市商業の活性化を図るため、市内で創業する者の店舗賃借料を支援します。 また、UIターン又は特定創業支援事業の支援を受けた創業や商店街内での創業に対する上乗せ支援を行います。	・店舗賃借料の補助 前年度以上(店舗)	△	◎新規採択件数:4件(うち中央区4件) 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・全市では目標件数に届かなかったが、中央区の採択件数は前年度から増加した。令和3年度はより多く創業者を支援できるよう事業の周知を図る。	商業振興課
再掲	創業時の賃料補助(オフィス)	起業及び創業を促進し、産業の活性化を図るため、市内で創業する者の事務所賃借料を支援します。 また、UIターン又は特定創業支援事業の支援を受けた創業や、情報通信関連産業における創業に対しては上乗せ支援を行います。	・支援企業数:20件 (内新規5件)	△	◎支援企業数:14件(内新規4件) 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・目標には届かなかったが、新規採択全4件が中央区内での事業所開設で、継続支援企業も半数が中央区だった。新型コロナウイルスの感染拡大により創業・起業をすることに一定程度のリスクがあったことから目標に届かなかったものとする。 ・一方、データ活用やECによる事業拡大などのポストコロナを見据えた新たなビジネスモデルの展開が期待されつつある中、新時代の新たなビジネスチャンスにチャレンジする創業・起業者を支援することで産業の活性化を図っていく。	企業誘致課

IV-3 まちなみ

(1) 景観に配慮したまちづくり

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
85	観光交流空間の整備(古町花街エリア街路美装化)	古町花街地区について、石畳舗装による道路の整備を行い、交流人口の拡大を図ります。	・観光入込客数2,242万人 ・延べ外国人宿泊者数84,000人	△	西新道(9番町側)の石畳舗装工事が竣工した。 ◎観光入込客数 1,082.2万人 ◎延べ外国人宿泊者数 1万8千人 ・今後は「古町地区将来ビジョン」の具現化に向けて取り組んでいく。 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により外出の自粛やイベントの中止が相次いだため、延べ宿泊者数、観光入込客数ともに激減した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により宿泊業をはじめとした観光業が甚大な影響を受けており、その影響が長期化している。ウィズコロナ・ポストコロナ時代に即した情報発信を行う。	まちづくり推進課

V 区政運営の基盤

V-1 土地利用

(1) 行政資源の有効活用

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
86	北部総合コミュニティセンターの移転改修	老朽化が進行している現北部総合コミュニティセンターを移転整備し、利用環境の改善を図ります。	/	—	R1で事業終了	地域課
87	旧豊照小学校跡地活用	学校統合に伴う学校開放の減少やしもまち地域の高齢化の状況等を踏まえ、地域への利用開放や市民の健康増進の機会創出を目的に、旧豊照小学校跡地の体育館を暫定的に活用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への利用開放 ・市委託事業の実施 ・交流の場の開設 	○	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域のスポーツ団体(学校開放利用団体)への利用開放 ◎フレイル予防に関する市委託事業の実施 ◎朝のラジオ体操など交流の場の開設 	地域課
88	旧湊小学校跡地多目的集会施設整備	学校統合に伴う地域活動機会の喪失等の状況を踏まえ、地域における交流機会や活動の活性化を目的として旧湊小学校跡地に多目的集会施設を建設します。	<ul style="list-style-type: none"> ・供用開始 	○	◎新規施設として令和2年5月より共用を開始した	地域課

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
再掲	中央消防署附船出張所移転新築	しも町地区における地域と連携した災害活動拠点として、附船出張所を旧入舟小学校グラウンド跡地に移転新築します。H30年度に基本・実施設計、R元年度に建築工事を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・供用開始 	○	令和元年度に前倒して共用開始済。(R2.3 供用開始)	消防局 総務課

V-2 公共施設

(1) 行政機能のあり方の検討

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
89	東地域保健福祉センターの整備	施設が老朽化している東地域保健福祉センターの整備を進めます。	・供用開始	○	令和元年度に前倒して共用開始済。(R2.2 供用開始)	健康福祉課 (保育課)

◆本庁主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2 取組評価	R2取組実績	担当課
			R2		工程・数値目標達成状況	
90	(仮称)市役所ふるまち庁舎の整備	市役所庁舎の防災拠点機能の早期確保を目的として進めている庁舎の再編について、古町の西堀四つ角に建設中の大和跡地再開発ビルへ市役所機能の一部を移転するため、(仮称)市役所ふるまち庁舎の整備を引き続き進めます。	・(仮称)市役所ふるまち庁舎のオープン	○	◎策定した実施計画に基づき、外部関係者や関係部署と綿密な調整を行い、耐震性を備える古町ルフル(再開発ビル)へ庁舎を移転し、防災拠点機能の強化を進めることができた。 ・市役所ふるまち庁舎R2.5.7オープン	総務部 総務課

V-3 行政サービス

(1) 質の高い行政サービスの提供

◆区主体事業

事業No.	事業名(取組み)	事業概要	工程・数値目標	R2	R2取組実績	担当課
			R2	取組評価	工程・数値目標達成状況	
91	窓口改善運動の継続	H23年度から取り組んでいる窓口改善活動(FI活動)に引き続き取り組みます。	・窓口改善運動の継続	○	◎住民異動繁忙期対策を実施 ・派遣職員の増員 ・窓口の混雑状況や呼び出し中の番号をインターネット配信 ・混雑予想カレンダーの作成・ホームページへの掲載 ・転出専用窓口の設置	窓口サービス課
92	職員の資質向上のための研修の実施	H22年度から中央区オリジナル接客研修を実施し、中央区全体での窓口・電話での接客能力の向上、その他、業務研修の実施や受講により資質向上に努めています。引き続き、これらの研修を実施します。	・「中央区オリジナル接客研修」等の開催	○	◎中央区オリジナル接客研修を実施 ・実施日 11月12日・13日 ・受講者数 44人	窓口サービス課
93	区役所だより発行事業	「区役所だより」に区の魅力に関する記事を掲載し、区民の関心の向上を図ります。	・記事掲載数 24回	○	◎区の魅力に関する記事 25回	地域課
再掲	SNSなどICTの活用事業	FacebookやTwitterなどの情報媒体を活用し、区づくり事業のイベントなどについて情報発信します。	・Facebook「ぶらり中央区」 月3回を目途に記事を更新	△	◎Facebook「ぶらり中央区」 投稿数 21回 ◎区公式Instagram 投稿数 58回 【取組結果:△・×の理由及び今後の方針】 ・新たに公式Instagramを開設し、発信する情報の性質に応じてFacebookとInstagramを使い分けたため、Facebookへの投稿数としては目標を達成できなかったが、両者合計では月平均6回以上の更新を行い、中央区の魅力発信に取り組んだ。 ・今後もFacebookやInstagramなどのSNSを積極的に活用し、効果的な情報の発信に努める。	地域課